

企  
画  
展

# 万葉の植物

— 牧野富太郎とまぼろしの図譜 —



馬柵越しに  
麦食む駒の  
罵らゆれど  
なほし恋しく  
思ひかねつも

『万葉集』巻二二三〇九六

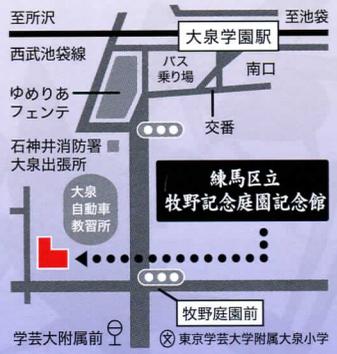


## 牧野富太郎 (1862-1957)

1862(文久2)年4月24日に高知の佐川村に生まれる。生涯に発見・命名した植物は1,500種類以上、採集した植物は約40万点、研究のために収集した書籍は約4万5千冊にのぼる。1926(大正15)年に渋谷から北豊島郡大泉村(現練馬区立牧野記念庭園)に移り住み、1957(昭和32)年に満94歳で没するまでの約30年をこの地で過ごした。

牧野富太郎 1941(昭和16)年、稲毛(千葉県千葉市)にて

会期: 2014年  
6/7(土) ~ 7/27(日)



**交通案内** ★駐車場はございません  
■西武池袋線 大泉学園駅下車(南口) 徒歩5分  
■JR中央線、西武新宿線からバスで「学芸大付属前」下車、徒歩3分

入場無料

**主なバス経路**  
●荻窪駅/上井草駅から、西武バス「長久保行」  
●西荻窪駅/上石神井駅から、西武バス、関東バス「大泉学園駅行」  
●吉祥寺駅/武蔵関駅から、西武バス「新座栄行」「都民農園セコニック行」他

- 開園時間: 午前9時~午後5時 (ただし、企画展は午前9時30分~午後4時30分)
  - 入場無料
  - 園芸相談: 午前9時30分~12時30分、午後1時30分~4時30分
  - 休館日: 火曜日(火曜日が祝休日にあたる場合は開館し、その直後の祝休日ではない日を休館) 年末年始
  - 所在地: 練馬区東大泉6-34-4
- ★企画展についてのお問い合わせ先 TEL: 03-6904-6403 FAX: 03-6904-6404 (E-mailは、makinoteien@mist.ocn.ne.jp)

練馬区立牧野記念庭園記念館  
牧野記念庭園は文化庁登録記念物(遺跡および名勝地)です

Makino Memorial Garden & Museum

# 企画展内容

「あかねさす 紫野行き 標野行き 野守は見ずや君が袖振る」（『万葉集』巻一の二十、額田王）日本に古くから伝わる『万葉集』には約160種類の植物が詠みこまれています。その中にはアカネ、イネ、キキョウ、ナツメ、ムラサキといった人びとの生活に関わりが深く、食用や薬用、染料となる植物が含まれています。

日本植物学の父と呼ばれる牧野富太郎(1862-1957)は、昭和戦前期にかけて『万葉集』に登場する植物に関心を抱き、水島南平や加藤襄二ら画工に数多くの万葉植物図を描かせました。牧野博士はこれらの図をまとめて『万葉植物図譜』として刊行する予定でしたが、出版計画が実現されることなく、それはまぼろしの図譜となりました。

本展では、未完のまま牧野博士の手もとに残され、近年までほとんど公開されることのなかった約80点の万葉植物図を展示、牧野博士による万葉植物調査の全貌を紹介します。



水島南平 筆 ヤマトツツジ



水島南平 筆 ツクuba

## 月草の うつろい易く 思へかも 我が思ふ人の 言も告げ来ぬ

(『万葉集』巻四一五八三、大伴坂上家の大嬢)



水島南平 筆 ワカメ



水島南平 筆 タブノキ



水島南平 筆 ノキシノブ



水島南平 筆 ヨモギ



水島南平 筆 ヒルガオ

## 関連イベント

### 講座「うちわに万葉の植物を描こう～日本画材に触れる」

当館学芸員による指導で、日本画の画材を使って、自由に絵を描きます。

[日 時] 7月27日(日) 午前10時から12時

[対 象] 小学生・中学生

[材料費] 300円

[人 数] 16名

[申 込] 事前申込制(抽選)

[場 所] 練馬区立牧野記念庭園 講習室



#### ★講座の申込方法について★

郵便往復はがきの往信用裏面に郵便番号・住所・氏名・電話番号・イベント名を、返信用表面に郵便番号・住所・氏名を明記して、7月13日(日)(必着)までにお申し込みください(〒178-0063東京都練馬区東大泉6-34-4練馬区立牧野記念庭園記念館)。

※講座の対象は原則として区内在住・在勤(在学)の方です。区内在住でない方は勤務先や学校の住所を記入してください。お申込みは一人一通に限ります。



#### ギャラリー・トーク 学芸員による展示解説

[日時] 6月8日(日)、7月5日(土)

いずれも午後2時30分より20分程度

[参加] 無料(申込不要)

[場所] 練馬区立牧野記念庭園記念館 企画展示室



牧野記念庭園にはスエコザサ、センダイヤ(サクラ)、ヘラノキなど300種類以上の植物が植えられています。園内の記念館では企画展を開催、鞘堂では牧野博士が研究に専念した書斎と書庫を公開しています。